

～あらすじ～

異国の王子タミーノと鳥刺しパパゲーノは、夜の女王の娘パミーナ姫を救うためザラストロの元に向かう。童子たちが二人を導くその先にあるものとは…。ザラストロが悪であると信じるタミーノに弁者が心の内を問う。果たして、夜の女王と侍女たちの企みとは？数多くの試練を乗り越え、タミーノとパミーナが辿り着いたその場所とは！？そして、パパゲーノは愛しのパパゲーナちゃんとお出会うことができるのか！？明石にゆかりのある音楽家が集結してお送りする新しい形のオペラ公演。天才モーツァルトが遺した最後オペラ“魔笛”を、弦楽4重奏版でお送りします。これは間違いなく世界初の試み！明石弦楽オペラ会発足第1回記念公演、お見逃しなく！！

明石弦楽オペラ合唱団

ソプラノ

下里 久美 ・ 高橋 みゆき ・ 西尾 葉子 ・ 星屋 真理

アルト

緒方 栄子 ・ 加来 ちか子 ・ 兼子 紀子 ・ 阪本 潤子

テノール

青木 健次 ・ 上田 泰雅 ・ 在間 義博

バス

井上 林一 ・ 西村 勝 ・ 宮本 裕二 ・ 山中 修 ・ 吉見 洋

～私たちは弦楽伴奏による新しいオペラ公演を提案します～

私たちは昨年の初め、世界的に珍しい弦楽四重奏の伴奏によるオペラ公演に着目しました。きっかけとなったのは1796年にJ.クフナーによって編曲されたW.A.モーツァルト作曲のオペラ「ドン・ジョヴァンニ」の存在です。クフナーの編曲は歌手のいない純粋な弦楽四重奏のためのものでしたが、弦楽四重奏だけで演奏できるならば、これに歌やお芝居を加えることで弦楽四重奏の伴奏によるオペラが成立するのではないかと考えたのです。

どうせならば、と私たちはモーツァルトの純粋な意図を汲むべく自筆譜から編曲を行い、昨年10月には明石弦楽四重奏団主催によるオペラ「ドン・ジョヴァンニ」の公演を成し遂げ、弦楽伴奏によるオペラ公演が可能であることを証明しました。

そして引き続き活動するにあたり、今度は明石にゆかりのある音楽家と共にこの「明石弦楽オペラ会」を結成したのです。これから私たちは弦楽伴奏によるオペラ公演の更なる可能性を追究し、この「魔笛」を始めとする新たな曲目の公演に挑戦すると共に、この新しいオペラ公演の形を明石から世界に普及させることを目指していきます。

